

足 かり

No 1

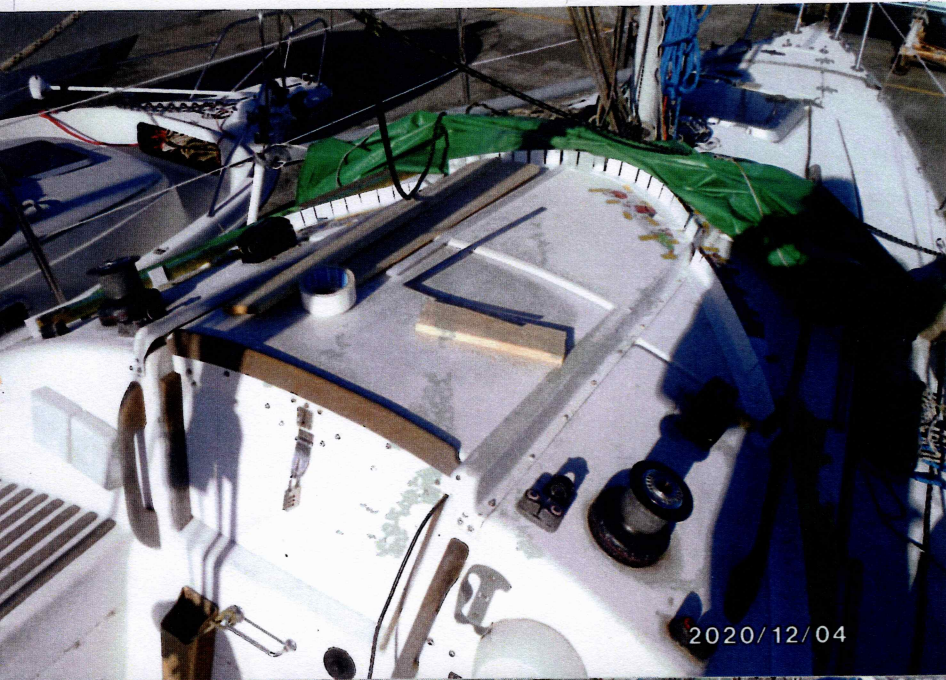
大波で、^(X-4/9)チャートテーブルに座っていたMelが、
キャレーの方に飛ばされて、しばらくして起き上
って、『日本へ引き返す…』の言葉を発した。長年
の夢であった、トランスパック・ヨットレース参加の足
かりが 無 になった。円をドルに両替して



あるのを、使わな
いと腹の虫が納
まらないので、安
いHIS社の旅行
で、シスコ・ロス
ティマナ(メキシコ)
観光の一人旅に
出向いた。シスコ
のホテルからタク
シーに乗って、街の
本屋に出向いて
本を探して、一冊
買って来た。金門
橋(ゴールドゲ
ートブリッジ)が
如何して作られ
たかの経緯を
記してあり、写真
や絵も多く、楽
しめた。



セリングを楽しむのには、オーナーとクルーとに分けて、最初はクルーで学び、最後にオーナーになる方法が望ましい。高校や大学の部活でセリングを学ばなかった人は、ヨット教室や、ヨット・スクールで学べば、遠廻りしなくて済む。



が、自由な冒険心か、窮られるかも知れない。何も知らなくても、セイル(帆)を上げて、帆についているローを引っ張れば、船が進む事は後からわかる。ロスのマリナデ、ルレイのマリナの前、ウエスト・マリンの店に、セリングやボート関連の図書が多く並べてある。土産に面白そうな本を何冊か買って来た。

よってキャビン後部に位置する舵棒が、船室に
出入りする度に、シヤマにたまりそうなので、S字曲線
に変形させて作ろうと考えた。舵棒と、それを左右
に連結するアルミパイプの結合部をきっちりネジ
止めするのではなく、6mm位のロープをゆるみを持
たせて、結ばは良いと考えた。高級な金具や、
ゴム製のユニバーサルジョイント等、探せば見つか
るかも知れないが、ロープで充分と思える。G.ウオ
ーラム設計のTKI-30の図面を購入して、色々学
ぶ点があった。15万円の設計図を求めて、9mmの
合板の上に、船底板、舷側板を切り出して、結
合する実体験をしないと、学ばない事がある。A
級ディンギーの製作時は、クリンカー張り(鎧張
り)の凸面と凹面のR部分はよげに、ゴム手袋
が穴が開いて、皮フがすり減って血が出ている
のにも気づかず、仕事を続行した事もある。
現在 A級ディンギーの完成品は、
150万はすると思えますが、子供の乗るOPが
50万円する時代になったのだから、時代の流
れは、誰のせい(?)でも無い。四国のお遍路
に出向いたI氏の息子が、アジア大会で使った
OPが大事に取っておくそうで、外国のメーカー
の艇だそうだが、公式レースに出ないで、練習
用使用するなら、ナス型取りをしても大丈夫でしょう。

龍ヶ崎のくはの息子さんに、霞ヶ浦でOPを習
せるのに使用すれば良いと思えた。TKI-30が
分かっていても、OPやA級ディンギー製作指導(?)
とやる事はいくらでもある。水戸の千波湖でも、
茨城町の涸沼でも、大洗町の船渡でも、OPデ
ィンギーや、A級ディンギーのセリングしているシー
ンが見られる様にしないと、海事普及活動をし
ているとは云えないと思える。メインシート
を引いて、セイルを正しくセットし、船がスルスルと
帆走り出す感動は、体感しないと話にならない。
二度目の牧家さんとの間に二人の息子をさすかった。
車社会で、車の災いから彼等を守る為に、車の基
の50ccのエンジンで動く、バイクの操縦をマスタ
ーさせようと、ヤマハのDT(?)の中古を購入した。
近所の農道で練習して、乗れる様になったら、
バイクを軽トラに積んで、マリーナの隣のサンビーチ
で、バイクで走らせた。「ファミコンより面白い
……」と云っていた彼等は、二人共娘をさす
かって、人の親になった。兄の方の話ですが、高
3の時、12月に学校一のマドンナにデートを申し
込んだそうだ。卒業までの3ヶ月の期限付き
で、付き合い合ひさせてもらったそうなの。小生は
中学3年の夏休みに、バレー部のマドンナに交際
を申し込んで、OKをもらった体験をした。親子